

整理番号	HT30040	分野	歴史	キーワード	学校資料
------	---------	----	----	-------	------

研究機関名	宮城学院女子大学				
プログラム名	学校に残されていた資料から、地域の歴史を読み取ろう				
先生(代表者)	大平 聡(おおひら さとし) 宮城学院女子大学・教授				
自己紹介	この10年ほど、特に東日本大震災以後、小学校の資料を調べていますが、専門は日本古代史です。天皇制の成立や、正倉院文書を研究しています。小学校を訪問する時、車にリコーダーを積み、調査の間に児童に聞かせることもあります。立って吹くコントラバスリコーダーまで持っています。				
開催日時・募集対象	平成30年7月28日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	25名
集合場所・時間	宮城学院女子大学 講義館6階		(集合時間)	10:00	
開催会場	宮城学院女子大学 住所: 〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号 アクセスマップ URL: http://www.mgu.ac.jp/main/about/accessmap/index.html				
内 容					
<p>小学校には、古くは明治にさかのぼる資料が数多く残っていることがわかってきました。その中でも、先生方が毎日記録した「学校日誌」は、歴史研究にとって大切な情報をたくさん伝えてくれます。小学校は、戦前は地域の文化施設として、住民の会合や娯楽のためにも使われていました。学校日誌を読むと、教科書で学んだ歴史が身近な実生活の中でどう受け止められたのかがわかったり、逆に、教科書には載らないけれども地域にとっての大発見となる事実が見つかったりもします。今回のプログラムでは、実際に学校日誌の調査を体験していただきます。大正時代の実物資料を使い、デジタルカメラで撮影し、地域の様子が分かる記事を探し、地域の方々に「昔この地域ではこんなことがありましたよ」と紹介するミニ展覧会を作ってみましょう。展示する際の説明文(キャプションといいます)も、一緒に考えます。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:30 - 10:00 受付(宮城学院女子大学:講義館6階)				筆記用具	
10:00 - 10:20 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)					
10:20 - 11:00 講義「資料の調査方法-資料の整理と撮影法」					
11:00 - 11:10 休憩					
11:10 - 12:00 ワークショップ①「調査の準備—撮影機材の組立」				特 記 事 項	
12:00 - 13:10 交流を交えた昼食・休憩(場所:学生食堂)					
13:10 - 14:00 ワークショップ②「資料に触れてみよう」					
14:00 - 14:10 休憩					
14:10 - 15:10 ワークショップ③「資料を読む」					
15:10 - 15:30 休憩・クッキータイム					
15:30 - 16:40 ワークショップ④「研究結果を発表しよう—ミニ展示会」					
16:40 - 17:00 修了式(アンケートの記入、未来博士号の授与)					
17:00 終了・解散					

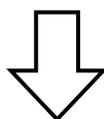
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	教育研究支援グループ 小川 なつみ（おがわ なつみ）
住所：	〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号
TEL 番号：	022-279-4698
FAX 番号：	022-279-7566
E-mail：	syomu@mgu.ac.jp
申込締切日：	平成30年7月13日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大平 聡	H25-28	基盤研究C	25370788	学校資料の史料化と学校資料に基づく地域史叙述の可能性



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。